

# 「虹の森」通信

1月号 第27号

発行日：2018年12月18日

発行：虹技株式会社

環境安全管理部 環境管理G

姫路市大津区勘兵衛町4丁目1

TEL 079-236-3224

**あっと** いう間に、もう師走になってしまいました。毎年、同じように嘆くのですが、本当に一年って早いですね。地獄のように暑い夏がついこの前だったのに、もうかなり朝晩が寒いですものね。最近のニュースではこの冬、きめ細やかに豪雪予報を出すなんてことが話題になっている。

さて、ゆめさきの森の草花や落葉樹たちは、寒さに耐える季節に入りました。したがってこの時季あまり良い写真はありません。タイトルバックは晩秋に熟する美しい「ムラサキシキブ」の実です。色鮮やかでとってもきれいでしょ。多くの女性はこの色が好きなようです。平安時代の女性作家、あの「紫式部」が由来でもあり、優雅でよいイメージがあります。学術名も「日本の優れた作家」といい、英語では「ジャパニーズ・ビューティベリー」っていうんですよ。こりゃちょっと、ほめすぎの植物なんですけど、日本全国の林に自生していて、観賞用として栽培もされています。

この時期の写真はやっぱり頑張っている鳥たちが中心になります。下の写真は、「カワラヒワ」と言って、



文鳥みたいに大きなくちばしが特徴で、種の殻をそのくちばしで、パンチのように割って食べるのに適しています。木の実やヒマワリの種なんかが大好物です。

春になったら「チュンチュン、ジュイ〜」ときれいな声でさえずり、以前に紹介したセンダイムシクイの聞きなし「焼酎一杯グイ〜」とすごく似てますが、鳥マニアは明確に聞き分けられるようです。

右上に並んだ、「おやっ」と小首をかしげたしぐさの鳥たちは、おなじみの、「ホオジロ」と「シジュウカラ」



ですが、この写真を眺めていたら、映画「スターウォーズ」に登場する兵隊・ストームトルーパーを連想してしまいました。ホオジロはスズメがまるでストームトルーパーのマスクを被ったみたいで、シジュウカラの方はフル装備のストームトルーパー。「スターウォーズ」はもともと日本文化をモチーフにしたキャラクターが多いのですが、こんなところも日本的だったのかななんて思いました。



下は、ゆめさきの森の通宝寺池の上を滑空する「アオサギ」です。アオサギは虹技の工場周辺でもよく



見かけるなじみ深い鳥ですが、緑をバックにこういうアングルで飛んでいる写真は、なかなか

カッコいいです。ちょっと見直しちゃいました。

頑張っている鳥紹介の最後は、これ。何だかわかります？ 春のさえずりナンバーワンの「ウグイス」です。鳴き声は有名なんですけど、姿かたちはけっこう地味目です。早く彼女の「ホケキョ！」が聞きたいな。





うき！

# みんなのための環境情報

## 環境関連の話題10選

年末になると、世の中の話題は今年を振り返るものが多くなります。それに、大河ドラマや、歌番組・バラエティなんかも総集編が目白押しです。私はこれらの番組が大好きでして、どの局でも魅力的な総集編を放送するので、毎年、どれを見ようかと迷いまくります。特に好きなのが今年の十大ニュース系の番組。

知っている話題ばかりなのに「そうだった、そうだった」と言いながらテレビにくぎ付けになってしまうのです。各局とも面白く工夫を凝らしたダイジェスト版なので全部見たいのだけれど、他の魅惑番組と重なっていて、いつも悔しい思いをします。録り溜めても毎日のようにそれらが放送されるので、見るのは結局、年明けになるなんてことも……。

というわけで、この環境情報も今年を振り返ってみますが、年間を通して調査するのはちょっと大変なので、今年9月以降の日経新聞から環境関連の話題10選を私の独断でチョイスしてみました。皆さんがえ〜っと驚く内容になればいいな。

### ● 第1位 廃プラ問題、大きく広がる

これね、自画自賛なのですが、今年の8月号で廃プラ問題について記事を書いた時には、世間ではまだまだ知られてはいなかったんです。でも、私が記事を書いた夏以降、あれよあれよという間に、世界中の環境問題のトップに上り詰めました。スタバがストロー廃止なんて言い出した時には、世間は「なんで？」ってな反応だったのに、今やあらゆる業界がストロー廃止を競い合っている。日経新聞ではわずか3ヶ月で大きな記事・特集が二十近くも組まれました。

### ● 第2位 英蘭シェル石油 脱石油宣言！

石油メジャーのトップがこんなこと言っているのか？！ トップだからこそ、ひしひしと迫り来る危機感があるのでしょうか。これからは石油メジャーではなくエネルギーメジャーになると語ったそうです。

### ● 第3位 トランプ G20 で大暴れ

保護貿易主義もそうですが、CO<sub>2</sub>削減についても参加20カ国中、唯一アメリカだけが一貫して「NO!」と主張し続け、国際会議で宣言採択がされないという事態に…… 周りの首脳や、幹事国を弱りはてさせて終わりました。このおっさんは筋金入りですわ。

### ● 第4位 IPCC CO<sub>2</sub> 排出ゼロが必要

いつまでたっても、政治も経済も具体的行動を起こせずにいることから、「イラっ」と来るんでしょうな。

報告がだんだん過激になってきました。会議席上で怒った学者たちが、怒鳴り散らしている形相を想像できるような記事でした。

### ● 第5位 欧自動車界、排ガス規制猛反発

EU 経済圏としては世界の環境リーダーの地位を確固たるものとすべく、まずは自動車業界から、模範を示してもらおうと目論んだのです。ところが、予想に反して、自動車業界は猛反発。なんでもかんでも自動車におっかぶせられても、できんものはできんとの叫びです。

## ●第6位 フランス 炭素税導入断念

パリ協定を採択した国であるフランスがそんなこ  
っちゃダメじゃんか〜。政治的に難しい駆け引きがあ  
るのだとは思いますが、フランス国民は世界的に恥  
をかいたこととなります。EU 離脱で揉めまくるイ  
ギリスの状況にちょっと似てるかな。歴史ある大  
国、英仏の混乱ぶりが世界を危機に陥れそう  
な予感すらします。

## ●第7位 ノーベル経済学賞に環境学者

日本では医学・生理学賞を受賞した本庶さんばかり  
が話題になっていますが、実は経済学賞が環境にと  
って結構大っきな事件なのです。受賞したアメリカ  
のノードハウス氏とローマー氏の二人は、ともに  
経済に環境問題を組み入れた学説で賞を受賞した  
のです。ノードハウス氏は炭素税の導入の提唱者  
として有名で、気候変動・技術革新と経済成長  
の関係を定式化した研究を評価され、ローマー  
氏は経済の持続的成長と環境保護の両立が可能  
であるとした研究が評価されました。

## ●第8位 COP24 パリ協定への道けわし

ポーランドで12月2日〜14日の日程で開催さ  
れているCOP24では、パリ協定の具体的な行動を  
決めていく予定だったのですが、アメリカが協  
定離脱を表明してから、先進国と途上国との間  
にきしみが生じており、実のある成果が出せる  
か世界の良識が試されます。この原稿を書いて  
いる時点ではまだ閉会していませんが、厳しい  
でしょうねえ・・・

## ●第9位 J・デップ ユージン・スミス役

これもね、去年の1月号に水俣条約についての  
解説と、水俣病についての基礎的な記事を書き  
ましたが、国際条約に日本の地名が盛り込ま  
れるほど水俣は世界的に有名なのだよという  
ことも皆さんに知ってほしかったのです。ち  
ょっと自慢になりますが、今回、その水俣を  
世界に知らしめた写真界の巨匠、ユージン・  
スミスの生涯を描いた映画「ミナマタ」が  
ハリウッドで制作されることになり、その主  
役、スミス役を

なんとジョニー・デップが演じることにな  
ったとのニュースです。ハリウッドのトップ  
スターが日本の公害問題をテーマにした映画  
に出演することになるとは、びっくりです。  
(ちなみに私はパイレーツ・オブ・カリビ  
アンのキャプテン・ジャック・スパーローが  
大好きです。)

## ●第10位 ボイジャー2号 さよなら

これも今年の5月号に書いた記事。地球が滅  
びても失われないたった二つ残る人類文明の  
記録が、ボイジャー1号・2号に搭載され  
たゴールデンレコードだけだという小野さん  
の文章を紹介したので、取り上げました。ボ  
イジャー1号はすでに太陽系外に出ています  
が、今回2号も太陽系外に出たという記事  
でした。それによると、通信は片道16時間  
半かかるとのこと、さよならといっても、活  
動はまだまだ、続いているのですね。(2025  
年に終了予定)

## ※ おまけの順位外 ズワイガニ ピンチ？

これは、環境問題との関係性ははっきりして  
ませんが、日本海のズワイガニの漁獲量が今  
年をピークに、来年以降はどんどん減少する  
のだそうです。3年後には現在のなんと約半  
分にまで落ち込むとのこと。これは、漁場の  
稚ガニを継続的に調査してきた結果から確  
実だそうで、何が原因かは特定できていな  
いんだとか。でも、生後3〜4年まで生き残  
る個体が減っているらしく、地球温暖化によ  
る海流の変化や生態系の変化なんかに関係  
するのかも・・・。カニ好きの方は、今シ  
ーズン腹いっぱい食べておいてくださいね。  
近い将来、高価で口に入らなくなるかも  
です。

いかがでしたでしょうか？ 独断と偏見で選  
んだ、今年度、第3四半期の環境問題10選。  
「へえ〜」をたくさんいただけたなら幸い  
です。今年もネタが尽きるのではないかと不  
安を抱えながらも、次々と出てくる環境問  
題が私の執筆を助けてくれました。皆さん  
には環境に少しでも興味を持ってもらえ  
よう、これからは難しい問題を、わかりや  
すく解説していきます。

来年もよろしくお祈いします。 それでは、  
良いお年を・・・。



## 虹の森なう

今回は公園職員さんに手伝ってもらいながら、シイタケ栽培のホダ木となるコナラを必要なだけ伐る予定でしたが、連絡・調整不足のため我々だけでできるところまで行いました。でも、斜面での素人軍団の太いコナラを伐る作業は心もとなく、安全に伐木できるコナラだけを伐って、残りは来月に回し、主に雑木伐採でエリアを拡大しました。

当日は、気温がぐっと下がり、冷え込みましたが、空は晴れわたる、冬らしい良い気候での作業となりました。虹の森の落葉樹はすべて葉っぱを落とし、整備したエリアがくっきり分かれ、すきっと見渡すことができます。看板下からデッキに向けて撮った写真にも青空がまぶしくきれいに収まっているでしょ。整備前はこんなふうに空は見えなかったのですよ。



冬の作業は寒いのがいやだけど、汗はかかないし静かな森の中での作業はとても心が落ち着きます。これはこれで、楽しいものです。ぜひ皆さんも遊びに来て体感してくださいね。



そうそう！皆さんに「生え始めたら連絡しますよ」と、かねてからお知らせしていた、虹技のシイタケ栽培ですが、この秋は、不作でした。キノコってのは気次第で読めないところがありまして、どっさり収穫できる予定だったのに、生えてきたのは、わずか10数本だけ。とて

も皆さんにお知らせするほどではなかったので、申し訳ありませんが、今回は私が収穫して美味しくいただいてしまいました。改めて、感想をお伝えいたします。原木シイタケは・・・

**っわっ、うんま〜っ！！**（宮川大輔風）

です。来春にはキノコ狩りにぜひ来てください。（シイタケのご機嫌次第ですが・・・）

## 第43回 森林整備の案内と参加者募集

新年最初の森林整備初めは、今回、やり残したコナラの伐木を進めます。シイタケのホダ木となるコナラは伐木した場所で2～3か月放置した後、山から運びだします。皆さんの意見を聞きながら、冷たい空気を吸って、自然を満喫し、作業を楽しみましょう。子供たちもたくさん遊びに来てくれるといいなあ。

**日時：** 1月12日（土） 10：00～15：00

**場所：** 県立ゆめさきの森公園（虹の森）

**申し込み：** 参加希望者は、環境管理G 的場まで、またはお近くにいるメンバーまで連絡ください。

的場ケータイ：090-5979-8385

メンバーの方はショートメール等で参加の可否を連絡いただければありがたいです。

初めて参加される方は、保険に加入しますのでお名前、住所、ケータイ番号を連絡ください。

※小雨は決行。天候が荒れそうな場合は前日夕方に、中止のメールを携帯に送信いたします。